

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

肥満が喘息に与える臨床症状への影響に関する解析

2. 研究の対象患者

2007年4月から2016年11月までの期間に当院にて気管支喘息と診断をされた症例

3. 研究の対象期間

2008年4月1日～2016年12月31日

4. 研究の概要

気管支喘息は気道の慢性炎症を主体とし、臨床症状として変動性をもった気道狭窄や咳で特徴付けられる疾患である。近年ステロイド吸入薬により気管支喘息のコントロールは良好となり、喘息死症例も減少傾向となっている。しかし、生活環境の変化などにより気管支喘息症例数は増加傾向となっており、成人の有病率は6-10%であり、今なお増加傾向にある。一方食生活の欧米化や生活環境の変化により肥満も増加している。肥満は高血圧や糖尿病などの生活習慣病が原因とされているが、脂肪組織に存在する炎症が生活習慣病の病態に関与していることが報告されている。これまで肥満は喘息の増悪リスクを上昇させ、治療コントロールも不良にさせるとの報告があるが、そのメカニズムに関しては不明な点が多い。肥満における炎症が喘息の病態にどのように関与するかを解析することを本研究の目的とする。本研究により、これまで治療に難渋していた肥満喘息症例において新規治療の開発に寄与できるものと考えられる。

5. 研究実施予定期間

2017年3月22日～2018年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：識別コード、年齢、性別、臨床検査所見、呼吸機能検査所見、治療経過、保存血清中サイトカインプロファイル等

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：アレルギー・膠原病内科 加々美 新一郎
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)